

教科書三十二ページ「学びて時にこれを習ふ ―論語から―」

❁単元名「論語は現代の私たちに何を教えるのか」

目標

人間の生き方についての孔子の考え方を
自分たちの生活と関連付けて考えよう。

課題①「論語」について、次の空欄に当はまる言葉を確認しよう。(□の数は字数を示している。)

「論語」とは、(ア)□□□□古代の思想家(イ)□□と、その弟子たちの言行録をまとめたものと教科書に書いてあるね。

(ウ)□□□□ という人は紀元前五五一年頃の生まれ、春秋時代の人らしい。戦争の絶えなかつた時代に生き、

彼は、人格や道徳を高めることで世の中を治めることを理想としたんだ。

ア、中国
イ、孔子
ウ、二千五百
エ、墨索

ということとは、今から(ウ)□□□□年以上も前に書かれたってことね。

そんな大昔に、人格や道徳を高めることで国を治めることの大切さを訴えていたなんて、なんだか不思議な気がするな。その考え方は後世に伝えられ、(ア)□□□□のみならず、日本には五世紀頃には伝わっていたん

だって。日本の学問や思想にも大きな影響を与えてきたんだとも書いてあるわ。

論語に収められた短い言葉の中には人間の生き方への鋭い観察や(エ)□□□□が込められているんだって。

❁□□□とは、「物事の筋道を立てて深く考え進むこと」

課題②「言葉のリズムや音の響きを味わいながら、「論語」を音読しよう。

どう、すらすら読むことができたかな？一年での「推敲」や二年での「漢詩」の学習で漢文について学んだとき漢文特有の言い回しがあったのを覚えているかい。同じように、論語にも独特の表現があるのでは？

言葉のリズムや音の響きってどんなところから感じることができた？声に出して気づいたことを書いておこう。

例) どの章句せ、

「子曰く」から始まり
て、次は孔子の話した
言葉を紹介するといっ
た「子」が「ん」で



さて、この単元名に迫るためには、続いてどのように学習していったらいいかな。



そうだなあ。すらすら読むことはできるようになったんだけど、孔子がどんなものの見方・考え方をしていたのか、読み取ることが大事だよな。



教科書の脚注に言葉の意味や説明が書かれているからまずはそれをつなげて現代語訳を作ってみよう。

課題③ 次の四つの章句の意味を、教科書の脚注などを参考にしてまとめてみよう。

学まなびて時にこれを習なぶ、また説よびばしからずや。朋とも遠方より来たるあり、また楽しからずや。人知らずして慍うらみず、また君子ならずや。

【現代語訳】 「この学問をして、機会があるたびに繰り返しおさらいをし、習熟じゆくじゆくする。なやむわしいいよはではないか。こうして勉強してしていると、学問の道に志す人が遠い所からも訪ねてきて、学問について話合あひつ。なやむ楽しいいよはではないか。自分の勉強が人から認められないいよはがあつても、不平や不満を抱かない。それでこそ、理想的な人格者ではないか。」と。

故ゆゑきを温めて新しきを知れば、もつて師たるべし。

【現代語訳】

過去の事柄を十分に理解し、新しい意義を発見できるなら、人の師となる資格がある。

学まなびて思おもはざれば 則すなはち罔くわし。思おもひて学まなばざれば 則すなはち殆あやかかし。

【現代語訳】 むやみに読んだり教わったりするだけでなく、よく考えなければ心がへびへびと理解があやふやになる。自分の考えだけに頼って、広く先人の意見や知識に学ばないこと、独断に陥り、危険である。

これを知る者は、これを好む者に如かず。これを楽しむ者は、これを楽しむ者に如かず。

【現代語訳】 何かについて知っている人は、その何かを好きな人にならず、またその人も、それを楽しんでいる人はかなわない。



現代語訳はなんとかできたけど、孔子という人がどんなものの方や考え方をしていたのか、まだぴんと来ないなあ。



現代語訳が書いてあるけれど、「それってどういうこと？」って何がいたいのかわからない」とってあるよね。

課題④ 次の問いに対して、「それってどういうことか」を考え、言葉で書いていこう。

(I) 次の「学而」の章句は、A ↓ B ↓ C の順番に登場する。なぜ、この順番になっていると考えられるか。

あなたの考えを説明しよう。

- A 学びて時にこれを習ふ、また説はしからずや。
- B 朋遠方より来たるあり、また樂しからずや。
- C 人知らずして慍みず、また君子ならずや。

まぢち学問をうじつ、自分がスキルアップしたい。次に同じ道を目指す他者の交流。最後、社
会への影響をいかに高めるか。問題を推進する。そのために、多くの企業やスクール、カンパニーと
ネット。

答を自分で決ましてみよう
けなはありませぬ。あなたの
考えを書かしてください。



(II) 次の「為政」からの章句は、

故きを温めて新しきを知れば、もつて師たるべし。

なぜ、「故きを温める」だけでは、「もつて師たるべし。」といえないのか。説明しよう。

孔子の思想は、現代社会にどう影響しているか。その理由を説明しよう。
孔子の思想は、現代社会にどう影響しているか。その理由を説明しよう。

(III) 次の「為政」からの章句の、「学ぶ」と「思う」の違いを説明しよう。

学まなびて思おもはざれば 則すなはち罔むらし。

思おもひて学まなばざれば則すなはち殆あやし。

「**学まなぶはる**」は**他たからももも教おしむはる**。**先人の知恵をなまぬ**。

「**思おもう**」は**つつかさり自らみずみず**。**なならならならなら**。

(IV) 次の「雍也」からの章句の、「知る者」「好む者」「樂しむ者」について次の問いに対するあなたの考えを書こう。

これを知る者は、これを好む者に如しかず。
これを好む者は、これを楽しむ者に如しかず。

❖ なぜ、孔子は「知る者」が「好む者」に及ばないと言っていると考えるか。あなたの考えを書こう。

「知る」は**誰たれか**だけが**も**知しる**べ**い。**深こい知識ちしきはなならならなら**。**好このむはる**は**誰たれか**が**も**好このむ**べ**い。
ううらならなら。

❖ なぜ、孔子は「好む者」が「樂しむ者」に及ばないと言っていると考えられるか。あなたの考えを書こう。

好このむはるは**誰たれか**が**も**好このむ**べ**い。**思おもう**は**誰たれか**が**も**思おもう**べ**い。**なならならなら**。**ううらならなら**。



自己評価をしましょう

この自己評価は皆さん自身が自分の学びを振り返るためのもの・皆さんの理解度や疑問を知るためので、先生の評価とは関係ありません。

課題① 「論語」について、基礎知識を確認することができたか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信がないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

課題② 言葉のリズムや音の響きを味わいながら、「論語」を音読することができたか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信がないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

課題③ 四つの章句の意味を、教科書の脚注などを参考にしてまとめることができたか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信がないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

課題④ 論語」に書かれている孔子の考え方を捉えることができたか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信がないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

課題⑤ 論語の中から心に響く章句をひとつ選び、その章句が何を教えてくれるのかを説明できたか。

十分に できた。満足。	まずまず できた。	自信がないが なんとかできた。	できなかった。
----------------	--------------	--------------------	---------

学習を終えて、分からないこと、疑問に思うことがあれば書き出しておこう。

❁ 教科書掲載の四つのうちからひとつを選んで、資料集等で調べたものから選んでもどちらでも構わない。

課題⑤ 論語の中からあなたの心に響く章句をひとつ選び、その章句が何を教えてくれるのかを説明しよう。